

令和五年六月二十五日（日）

『南日本新聞』

みなみネット掲載

山重小児童、コミュ協と共同で

志布志・有明野神



志布志市有明町野神の曲集会
所近くの水田で、山重小学校児
童と住民ら約50人による田植え
があった。児童は泥だらけにな
りながら、豊作を願う丁寧な手
植えた。山重校区コミュニティ協議会
青少年育成部が企画する「やま

地域住民と一緒に田植えする子どもたち
＝志布志市有明町野神

▲しげ土曜体験広場の一環。留村政治さん所有の約3㍓を借り、10月の収穫を目指す。同部長の福永秀樹さん(60)は「作る大変さや収穫の喜びを感じてほしい。水を引いて開田した先人の苦勞も知ってもらえれば」と話す。

田植えは17日あり、6年の黒木琉那さんは「おじいちゃんも米作りをしているのでやったこととはあるけど、小さい子に教えるのは難しかった。おいしく育ててほしい」と話した。

(福留梓)